

Season 2

観覧無料

令和二年度 特集展Ⅱ

密教仏画の至宝Ⅱ

2021 1.9 [土] >> 2021 3.21 [日]

●開館時間 9:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)

●休館日 月曜日(月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする)

羅刹天像(十二天像 甲本)

※ 期間中、計4回の展示替えを予定

 大分県立埋蔵文化財センター

〒870-0152 大分県大分市牧緑町1-61 <http://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/>

TEL:097-552-0077 FAX:097-552-0700 Facebookもチェック  @oita.maibun

主催/大分県立埋蔵文化財センター
後援/大分合同新聞社
NHK大分放送局
OBS大分放送
TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送
協力/願成院愛染堂(竹田市)

密教仏画の至宝 Season 2

密教という、難しい宗教のように思われる人もいるかもしれませんが、「お大師様」「お接待」など、密教を唐から招来した弘法大師空海に対し、宗派を超えてお祀りする身近な民間信仰は今も根強く残っています。

密教が9世紀初頭に伝わって以来、その信仰は全国に広がっていますが、大分県竹田市にある願成院は江戸時代の岡領における密教の中心寺院でした。近年、願成院で保管されてきた大量の仏画が注目を集めています。当センターでは、令和元年度にこの密教仏画を展示したところ、幸いにして好評を博しました。願成院には、未公表の仏画がまだ大量にあり、今回は、密教に関する高僧・祖師、また修法の際に用いられる十二天や敷曼荼羅など多様な仏画を4回に渡り紹介します。

◀ 展示構成 ▶

※ 期間中、計4回の展示替えを予定
資料状態により変更有

- 1期 十二天(十二幅) 2021年1月9日(土)～
- 2期 曼荼羅 2021年2月2日(火)～
- 3期 密教の系譜 2021年2月23日(火)～
- 4期 密教の祖師と高僧 2021年3月9日(火)～
2021年3月21日(日)終了



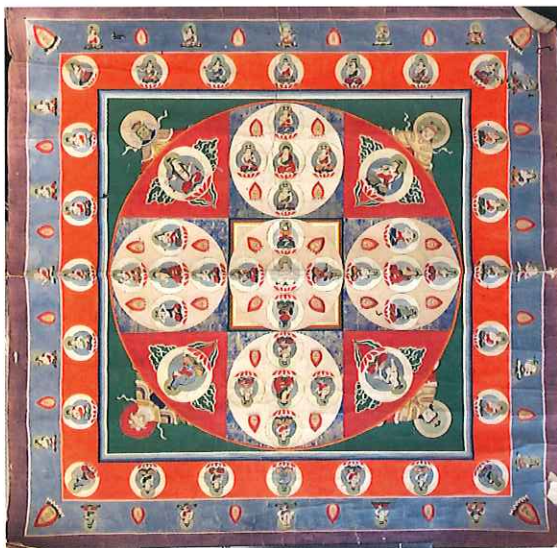
兜率天曼荼羅図 乙本 江戸時代 1829年(文政12)
長谷川賀一郎(等叔) 作



月天像(十二天) 甲本 江戸時代

◀ 主な展示仏画 ▶

- 1期 十二天像(十二幅) 甲本:江戸時代
- 2期 胎藏界敷曼荼羅 江戸時代
金剛界敷曼荼羅 江戸時代
兜率天曼荼羅 乙本:江戸時代
弁才天曼荼羅図 江戸時代
- 3期 密宗血脈相承図 安土桃山時代末
龍猛菩薩図他八祖図 甲本:江戸時代
- 4期 弘法大師像 乙本:江戸時代
弘法大師像 丁本:江戸時代
弘法大師絵伝(二幅) 江戸時代
理源大師像 甲本:江戸時代
理源大師像 甲本:江戸時代



金剛界敷曼荼羅 江戸時代 1830年(文政13)



理源大師像 甲本
江戸時代 1758年(寶暦8)



- 自家用車では、大分駅から滝尾橋ルートで約10分。
- バスでお越しの際は、(大分駅前(6)番乗り場) 大分バス「一里塚」行きで14分、「牧」バス停下車、徒歩2分。
- JRでお越しの場合は、日豊本線 牧駅下車、徒歩6分。
※大型バス駐車可能、普通車200台程度駐車可能。

